

まゆうしよくだより

令和8年1月
大阪市立栄小学校

ぜんこくがっこうきゅうしよくしゅうかん 全国学校給食週間について知ろう

わたしたちが毎日食べている給食は、ごはんやパンに魚、肉、豊富な野菜、牛乳、そしてくだものがつくなど、栄養バランスのよい食事です。
戦争などによって中断されていた給食が再び始まったことを記念して、「全国学校給食週間」が定められました。全国学校給食週間を通して、給食の歴史を知り、生きものの命をいただくことや給食に関わる人たちのことなど、毎日食べている給食について考えてみましょう。

がっこうきゅうしよく 学校給食の歴史を知りましょう

めいじ ねん
明治22(1889)年

やまがたけん ひる も こ
山形県で昼ごはんを持って来られない子どもたちのために昼ごはんを出したことが、学校給食の始まりといわれています。その後、日本中に広がっていきました。



しょうわ ねん
昭和16(1941)年ごろ～

せんそう はじ しだい た ふそく
戦争が始まると、次第に食べものが不足したため給食を中断せざるを得ない状況になりました。

しょうわ ねん がつ か
昭和21(1946)年12月24日

がっこうきゅうしよくかんしや ひ
【学校給食感謝の日】

せんご きぞう
戦後、アメリカから寄贈された脱脂粉乳や小麦粉を使った給食が提供されました。



げんざい きゅうしよく
現在の給食

しょうがくせい ちゅうがくせい けんこう まも せいちょう
小学生や中学生の健康を守り、成長するために必要な栄養素をバランスよくとることができるように考えられています。給食を通して、食について学ぶよい機会となっています。



ふゆやす かさ
冬休みと重なるので、1か月後の1月24日から30日までの1週間で「全国学校給食週間」と定め、1月24日を「給食記念日」としました。

がっ 1月のこんだてより



りょうり ねが
～おせち料理にこめられた願い～

しょうがっ ことし けんこう しあわ す
正月には、「今年も健康で幸せに過ごせますように」と願って食べる料理がたくさんあります。

がっ か きん
1月9日(金) ごまめ

たづく よ こめ しょくもつ ほうさく ねが
「田作り」とも呼ばれて、米や食物の豊作を願う。



がっ にち か こうはく
1月13日(火) 紅白なます

しろいろ あかいろ みずひき いみ
だいこんの白色とにんじんの赤色で、水引を意味して、新年を祝うめでたさを表す。



くろまめ に
黒豆の煮もの

はたら ねが
「まめまめしく(まじめによく)働けますように」と願う。



がっ か か
1月20日(火) くりきんとん

ことし ゆた せいかつ おく ねが
「今年も豊かな生活が送れますように」と願う。



きゅうしよく どうじょう いま しゅん や さい 給食に登場する今が旬の野菜

★みずな★

むかし きょうと ふ さいばい きょう や さい さむ
昔から京都府で栽培されていた京野菜です。寒さが厳しくなる秋の終わりから冬にかけて旬(たくさんとれて、おいしい時期)をむかえ、京都府では「みずなが店に出るようになると、冬本番」といわれています。

がっ にち もく に
1月22日(木) みずなの煮びたし

